

米国

ISM景況指数（2021年9月）

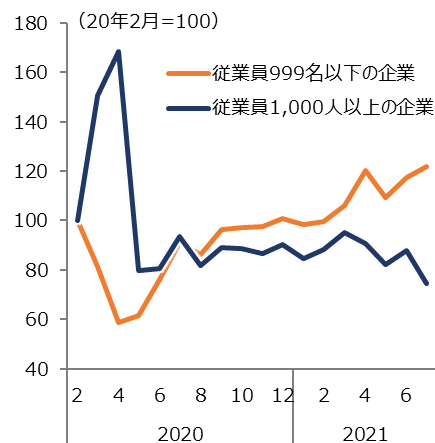
供給制約は解消の見通しが立たず、旺盛な需要との板挟み続く

政策・経済センター
田中嵩大
03-6858-2717

1 ISM景況指数（総合）

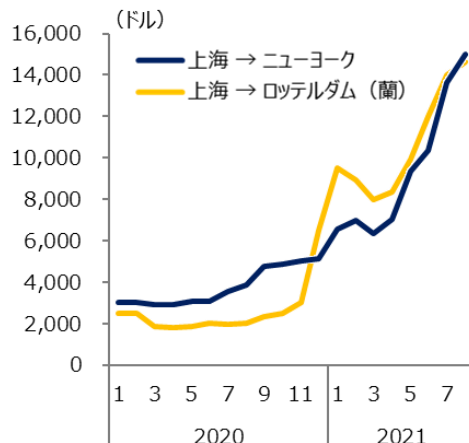


2 企業規模別の自発的離職者数



出所：米国労働省

3 コンテナ運賃動向



注：40フィートコンテナの運賃。出所：日本海事センター

評価ポイント

今回の結果

- 21年9月のISM製造業景況指数は61.1と、2カ月連続で前月から上昇した。
- 項目別に見ると、入荷遅延（73.4）の上昇が総合指数を引き上げた。また、雇用（50.2）も前月から上昇し、2カ月ぶりに雇用拡大を示す50を上回った。一方で、生産（59.4）は前月から低下、新規受注（66.7）は変わらなかった。
- 業種別に見ると、木材製品を除く17業種で活動拡大が報告された
- 9月のISM非製造業景況指数は61.9と、2カ月ぶりに前月から上昇した。
- 項目別に見ると、ビジネス活動（62.3）、新規受注（63.5）は上昇、雇用（53.0）、入荷遅延（68.6）は低下した。
- 業種別に見ると、農林水産業を除く17業種において活動拡大が報告され、前月に活動縮小した芸術・娯楽も再び力強い活動拡大に転じた。

基調判断と今後の流れ

- 企業活動は、引き続き供給制約の影響を大きく受けている。未だ解消の目途は立たず、今後も堅調な需要と供給制約の板挟み状態が継続すると見込む。
- 人手不足に関しては、デルタ株拡大の影響で労働市場への復帰が妨げられているうえ、前月から離職者増加のコメントが増えていると指摘されている。
- 背景には、人材確保のために各社が賃上げを進めていることから、より良い待遇を求めて転職が増加していることがある。流動性の高まりは好ましい面もあるが、自発的な離職は中小企業に多く（図表2）、人手不足による生産活動縮小や賃上げによる収益低下が懸念される。
- また、原材料・商品では、海運の需給ひっ迫により、輸送の遅れやコンテナ運賃の急騰が世界的に問題となっている（図表3）。年末商戦に向け、中国などからの輸送を増やしたいなか、納品が遅れれば商品不足により、旺盛な需要の妨げとなりかねない。